



やぶやぶにゆうす

保険損害代理店協会認定
特級代理店
秋号

富士火災海上保険(株)
三井住友海上火災保険(株)
東京海上火災保険(保)
あいおい損害保険(株)
アリコジャパン
オリエント生命保険(株)
東京海上日動フィナンシャル生命保険(株)

編集・発行:特級代理店(株)大藪保険コンサルタント 〒167-0043 東京都杉並区上荻1-4-5村上ビル5F TEL.03-3392-6765 FAX.03-3392-6793

地震と保険と防災

台風23号や新潟中越地震の災害に合わせた方に、心からお見舞い申し上げます。前回のヤブヤブニュースでは「水害事故」の保険を中心に記事をとりましたが、「雨漏り」「台風による吹込み雨」などは保険金が出ないのに、なぜ大被害が出るのかという質問を弊社契約者以外から多く頂いております。その回答は「発生原因にあります!」上記事故報告を単にした場合は消耗的な自然事故となり、確かに保険事故では支払できません。しかし「雨戸のトイが壊れた」「給配管が壊れて逆流した」などは保険の支払い対象になります。また地下室の床上浸水の場合は、有責となっておりますが、地下室が駐車場や機械室の場合は問題となっておりません。要は「どんな代理店に加入しているか?」しつかり事故状況を報告され相談しているか?です。加入する時に、価格や付き合いだけで保険を判断しては、有効な活用はできないと思います。

損害を半損として50%の支払い。(家財は30%以上で半損)そして3%以上と20%又は30%未満を一部損として5%の支払い。この3パターンだけを支払います。地震による72時間以内の不審火も一般での火災保険の支払い対象には原則ありませんので地震の時の火事にはご注意ください。別紙パンフレットの支払い例を参考にしてください。

す。従って建物が崩壊した時は、密集した住宅地の建物付近にはガスが充満している危険がありますので、確実にガスの元栓を締めること、火の始末をきちんとすることの二点は必ずして下さい。そして、個人でできる「防災・予防」を再度この機会にご検討と訓練して下さい。置かず枕もとには生活必需品を置く事「メガネ・入れ歯・お金・靴・懐中電灯・ラジオ・軍手・乾パン・水など」(防災グッズの入れ替えや注意確認の方法。携帯電話での災害伝言板「171」・「110」ドメニュー)の活用方法の確認など。また、家具の倒壊などを防ぐために、ストッパーなどで固定することも行って下さい。携帯電話は緊急時につながらないことも頭に入れておき、バッテリーの充電方法なども検討しておきましょう。(コンビニなどで使い捨ての充電器が売られています)さらに車を運転中の地震ではゆっくり左に寄せて停車させて、キーをつけたまま車から離れて下さい。特に「あわてない」ことが何よりも重要なことだと思います。

今回の地震で注目したいのは土曜の夕方のわりに「火災が少なかつた」ことにあると思います。阪神大震災の時はガス管が鉄。新潟は冷寒地のため10mも伸びちぢみするPE管を使用したといわれる効果が大きかったと言われていると、大部分の地中のガス管はPE管に変わっています。でも建物については管は隣家からの火や熱などからカバーするために鉄が使われていま

NEW WORLD
NEWSOLUTION
NEW RISK

見出し

その時あなたは?! 大藪保険のご契約者新潟中越地震体験記

10月23日、仕事熱心なご契約者は、(学生時代から社長の友人であり、萩原印刷株式会社代表取締役 萩原 誠氏当社の大事なお客様のお一人です)お客様との接待ゴルフで新潟県湯ノ村(震源地より車で15分の距離)大湯温泉に行っていました。今日のゴルフはまずまず、仕事の話もできた。温泉で疲れをとり、後は6時からの宴会で・・・エレベーターを降りたとき、急に突き上げる揺れ、もちろん立ってられない!そして停電あたりは真っ暗!しばらくしてホテルの人の指示で大広間に集められました。もちろん宴会のきこの鍋やごちそうはおあずけ。暗闇の中での不安な時。携帯電話は通じない、なんとか家に連絡をとらなくてはホテルの電話でやっと自宅に連絡「俺、大丈夫!連絡は度々とれるかわからないけど・・・心配なくていいよ」それだけ伝えて、また大広間に戻り大きな余震を何度も感じながら不安の中で一夜を過ごしました。翌24日朝、この地が震度5ということもっとひどい地域があることがうつつと分かってきました。高速は使えない、でも違うルートで東京に戻れる!そんな情報もどこからともなく届きました。そこで、お客様と信号がつかない17号線を下って苗場へ、そう昨日から口に入れたのは配給された握り飯一個だけ!苗場プリンスによって朝食を取った時、本当の被害の大きさを知りました。現地にいる時には、正しい情報が入らないことを身をもって経験してきました。ちょうど産婦人科より帰ってきてやれやれとお腹をさすった時でした。ドスンという音とともに宮城県地震が襲ってきたのです。とっさにあたまを座布団でカバーし、揺れ動く家の中から庭に目をやりますと池の水が垂直に動き鯉が上下に飛び跳ねています。今でもその光景が目に残っています。その時に生まれた娘も結婚し、一児の母になりました。今回の被害にあわれた方お察しいたします。でもきつといい状況が来る!どうぞ希望を持って生活していただきたいと思います。(杉山)



気をつけてください

現地の代理店からの報告では、保険満期の更新ができません!事故が発生した。などの業務上の問題点も報告されてきました。また、救援物資はかなり届いてきたようですが、お年寄り用いつけり付けカイロや大人用おむつが足りないなど人も入っています。これから冬を迎えます被災地は豪雪地帯です。帰る家をなくされた方の気持ちを思うと胸が痛みます。皆さんと共に一日も早い復興を応援していきたいと思っています。

台風に続いて今度は地震です。いついついどうなっているのでしょうか。今回の台風二十三号は大藪保険が加入している村上ビルにも被害をおよぼしました。八階からしたまでの雨トイがすつ飛んだままの雨ひさしが落ちてしまったというのが一件ありました。人的被害が無かったのはほっといいたと思います。猛暑だ、地震だと明け暮れた今年も残りわずか、来年こそは平穏な年でありませぬ。スタッフ一同

編集後記

